

一般質問通告書（令和3年6月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	広田 精治	<p>1. 特別障害者手当制度の周知徹底について</p> <p>2. 高校生通学支援事業について</p> <p>3. (仮称)野津太陽光発電事業計画について</p>	<p>(1) 特別障害者手当制度の取組の現状について伺う。</p> <p>(2) 令和2年度末現在の要介護4、5の認定者数、特別障害者手当の受給者数を問う。</p> <p>(3) 要介護度4、5の方でも該当する場合も多いと思われるが、自治体によっては要件を備えていても受給できていないケースが少なくない。障がい者福祉の窓口、介護保険を含む関係窓口、あるいは介護支援専門員を通じて案内を強める等、制度の周知徹底が必要だと考えるが、いかがか。</p> <p>(1) 7年が経過した「高校生バス通学用定期券購入助成金交付制度」について伺う。</p> <p>① 本制度の助成対象が市内2校に通学する生徒のみに限定されていることについて、公平公正の観点、市民ニーズに照らして、どのように考えているのか伺う。</p> <p>② 「白杵市の将来を担う人材」としての成長・学びは2校以外でも可能であり、郷土愛は他校進学生にも十分育まれるものだと考えるが、どのような見解か伺う。</p> <p>(2) 高校生の通学の形態（JR・路線バス利用者、自家用車利用者、下宿・アパートからの通学などさまざま）、通学の実情を把握、検討して、公正公平な助成制度へと発展的に改善させるべきと思うが考えを伺う。</p> <p>(1) 3月定例会以後の計画の進捗、林地開発申請手続きの状況を伺う。</p> <p>(2) 環境影響評価書によれば、様々な希少動植物が確認されている。オオイタサンショウウオは事業実施区域内10地点で卵囊76個、幼生・幼体・成体合わせて10個体が確認。改変区域内でも卵囊5個、幼生・幼体合わせて8個体が確認されている。事業者は、調整池をビオトープとして利用し、卵は近くの河川に移して保護するとしているが、こうしたことで保護されるものか、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 事業者の林地開発申請に対する県からの意見照会、市長の意見書提出はどのようになっているか伺う。</p>		
2	戸匹 映二	<p>1. ゴミのポイ捨て防止について</p> <p>2. 障がいを持つ子どもと持たない子どもと一緒に楽しめるインクルーシブ公園の整備について</p> <p>3. 白杵庁舎の西館玄関のバリアフリー化と庁舎内トイレの洋式化について</p>	<p>(1) ゴミのポイ捨てについて</p> <p>① 白杵市内の道路や公園などで、たばこの吸い殻やゴミのポイ捨てが常態化しているような場所があるが、現状の市の対策を伺う。</p> <p>② たばこの吸い殻やゴミのポイ捨てを禁止行為として定めるよう具体的に明記した条例を定め、勧告・命令・指導や、場合によっては過料などの罰則規定を設けるなど、ゴミのポイ捨て防止への対策強化を行っては如何か。</p> <p>(1) 障がいを持つ子どもの遊び場の確保について</p> <p>① 市の管理する公園では、障がいを持つ子どもが遊べる場所が無い。市内に、障がいを持つ子どもが遊べる遊具などを設置した公園が必要と考えるが如何か。</p> <p>(2) インクルーシブ公園の整備について</p> <p>① 白杵市の中心的孩子も広場となっている「リーフデわんぱく」を、障がいを持つ子どもと持たない子どもと一緒に楽しめるインクルーシブ公園へと整備していただきたいが如何か。</p> <p>(1) 西館玄関のバリアフリー化について</p> <p>① 市民の利用が多い西館玄関は階段を使わなければ出入りできないため、上り下りが大変そうな高齢者などをよく見かける。「高齢者や体の不自由な方の駐車場」から西館玄関へスロープを設置することで、体の不自由な方などの負担軽減となり、また、津波避難時の迅速な避難にも寄与できるものと考えられる。西館玄関のバリアフリー化を行っていただきたいが如何か。</p> <p>(2) 白杵庁舎のトイレの洋式化について</p> <p>① 白杵庁舎内のトイレはまだ和式が多く、市民から洋式トイレへの改修を望む声がある。早期に洋式トイレに改修していただきたいが如何か。</p>		

一般質問通告書（令和3年6月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
3	大塚 州章	1. ユネスコ食文化創造都市について	(1) 食文化創造都市とは。 (2) 市民及び市内事業者がどのように関わることができるか。 (3) 市内文化とユネスコ創造産業7分野との連携及び波及効果について (4) SDGsやパートナーシップ宣誓制度を始めた臼杵市においてジェンダーレス社会との関連性は。		
4	河野 巧	1. 自治会について	本年3月に臼杵市自治会連合会と臼杵市による「臼杵市自治会の手引き」が発行されました。 (1) 作成された理由について (2) 自治会活動保険について ① 補償内容と加入手続きについて ② 地区外からの参加者への対応について (3) 行政区の統合・分割について ① 自治会と行政区の違いについて ② 行政区の統合・分割に対する市の考え方		
		2. オープンデータについて	(1) オープンデータとは、国や地方公共団体が保有するデータのうち、誰もが規約の範囲内で容易に利用（加工、編集、再配布など）できるよう決まった項目に該当する形で公開されるデータのことであるが、これに対する臼杵市の考え方、取り組み方について ① どういったものが対象となるのか ② どういった利用規約・ライセンスがあるのか ③ 誰がどこで公共データを公開することを決めるのか ④ データを公開することで臼杵市が目指しているもの ⑤ 市民から要望があった場合のデータの取り扱いはどのように考えているか		
		3. スポーツ振興について	(1) 平成28年度に策定された臼杵市スポーツ推進計画から既に5年が経過し6年目を迎えている。同推進計画における現状と課題、臼杵市が目指す将来像について ① 昨年度までの目標値における成果について ② 昨年度までの成果における課題について ③ 今年度から最終年度となる令和7年度における目標値の方針について ④ スポーツ振興を通じた臼杵市の将来像について		
5	若林 純一	1. 新型コロナワクチンについて	(1) ワクチンについて ① ワクチン接種による感染予防効果について ② ワクチン接種による感染予防効果の継続期間について ③ ワクチン接種による副反応の状況について ④ ワクチン接種による長期的な副反応の有無について (2) ワクチン接種の方針について		
		2. 経済対策について	(1) 「コロナ」による市民及び市内事業者への影響及び現状をどのように把握されていますか。 (2) 経済支援をどのように行う予定ですか。 ① 事業者への支援について ② 市民への支援について		

一般質問通告書（令和3年6月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
6	川邊 隆	1. 生理用品の無償配布について  2. 白杵市出身、荘田平五郎氏の功績と今後について	(1) コロナ禍での女性・子どもの貧困の実態把握をされていますか。 (2) 防災備蓄品の中に、生理用品は備蓄されていますか。 (3) 生理用品を必要とする児童・生徒へ、無償配布できる取組みの考えはありますか。  (1) 荘田平五郎氏の功績について、お伺いします。 (2) 荘田平五郎氏が寄贈した、土地・建物等の今後の有効利用計画等をお伺いします。 (3) 荘田平五郎氏の功績について、今後どのように検証していくかお伺いします。		
7	奥田 富美子	1. 男女共同参画社会の実現に向けて  2. 白杵市教育支援センター「きずな」について	(1) 白杵市役所の女性管理職は現在1名のみです。男女平等、女性の社会進出という面からは遅れ気味な状況といえます。白杵市における「男女共同参画社会」の実現に向けては白杵市役所がお手本になるべきと考えます。現状についていかがお考えですか。 (2) 男性の育児休暇の取得率はどのように変化していますか。 (3) 男女共同参画社会の実現に向けて担当課である「部落差別解消推進・人権啓発課」の名称の変更も含めて、過去3回お尋ねしてきました。その都度検討するとの回答でしたが、未だ変更がなされていません。検討の経過と結果についてお示してください。  (1) 不登校、不登校気味の生徒数と教育支援センター「きずな」の利用状況について現状はどうなっていますか。 (2) 白杵教室は以前「上下水道課」がそれ以前は大分県も使用していた古い施設であり、野津分室は野津中央公民館の大ホールの楽屋を使用しています。どちらの施設も課題があると感じます。会場の変更なども視野に入れて、子どもたちにとって、行きたくなる場所、落ち着いて学べる場所になるように施設の環境整備についていかがお考えでしょうか。 (3) 現在、指導員は退職した教員、女性1名・男性3名、1年間の出向で現職女性教員1名の合計5名です。来年は、女性1名・男性3名の4名体制になるとのことです。野津分室が6月からは週2回開設になることと、男女のバランスから考えても増員が必要と思われます。今後の体制についてどのようにお考えでしょうか。		